

4 提出された意見、提案等と市の考え方

<個人からの意見・提案等>

(1) 総合計画全体について

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
1	全体	個人	—	<p>○非常に充実した総合計画でより多くの市民に説明の機会と意見徴取の機会を作り合意形成を図る。</p> <p>○市民一人一人に「鳥取の明るい将来」を共有できる仕組みが大事である。夢を与える計画にするためには、スタッフ一同その思いを共有し「大いに語る」ことが重要です。</p>	その他	<p>この計画は、策定段階から市民意見等を反映するため、市民委員で構成する鳥取市総合企画委員会による審議、地域審議会からの意見・提案募集、市民ワークショップやまちづくりフォーラムの開催など市民への説明の機会や意見把握による合意形成を図ってきました。</p> <p>また、「市民等との協働の推進」を計画推進における基本方針としており、市民等との協働のしくみづくりを進め、この計画に示すまちの実現に向けて取り組めます。</p>	行財政改革課
2	全体	個人	—	<p>魅力あるまちづくりのためには、流行の服が欲しい時に買えたり、テーマパークや遊園地にいつでも行ける豊かさではなく、心の豊かさや住民の満足度を充実させることに重点を置いて欲しい。観光に力を入れ、資金を投じるよりも、鳥取に定住する人びとを増やすべきだと感じた。</p> <p>「福祉サービス日本一“赤ちゃんから子ども、大人、老人にやさしいまち”鳥取」というのはどうだろうか。他のまちでやっていることを同じようにやってもUJ Iターン者はいつまでたっても来ないし、定住者も増えないだろう。そのための資金なのだが、“本当に”鳥取を変えたいのなら、まず市長などまちのトップ層が給料を減額して確固たる意志で鳥取を変えたいという事を市民に示す。その後、事業削減や増税などに踏み切る。</p>	参考意見	<p>貴重なご意見ありがとうございました。今後の具体策又は取組みの参考とさせていただきます。</p>	行財政改革課
3	全体	個人	—	<p>計画においてひとつの大きな目標を掲げるべきだと考える。“何か”ひとつに特化する地域、“何か”が一番な地域。今回わたしが提案したいのが、「(日本で一番)学生がすまよいまちづくり」である。</p> <p>わたしはこの春、栃木県からこちらにやってきた鳥取大学生であるが、「湖山に住みにくい」ということである。遊ぶ場所も働く場所も極端に少ない。気軽に行けるファストフードも、おしゃれな服を売っている店もない。他地域の大学の話を聞いて比較してみても、劣等感を抱かずにはいられない。こんな中を「鳥取」にいいイメージを持つだろうか。「鳥取」に残りたい。」と思うだろうか。「人口減少」、「少子高齢化」を叫ぶ前に考えるべきことだ。</p> <p>鳥取大学には、さまざまな地域から、さまざまな人間たちが集っている。これは貴重なチャンスだ。元“ソト”の人間である彼らに、“鳥取”を愛してもらい、卒業後も“鳥取”とともに生きてもらう。そんなまちづくりもまた一興ではなからうか。</p>	その他	<p>学生をはじめ若者に魅力のあるまちづくりによる定住促進は、リーディングプロジェクト(重点的な取組み)に位置づけ取組んでいくこととしています。</p> <p>具体的には、「鳥取市若者定住戦略方針」に掲げる基本方針5つのプロジェクト「鳥取の魅力創造」「教育環境の充実」「健康と子育ての応援」「すぐれた住環境創造」「農村漁村の若者の暮らし応援」を着実に実施していきます。</p> <p>特に子育て応援の充実(P39)、教育の充実(P41)、若者の文化・芸術活動の推進(P44)、多様なコミュニティ活動等の活性化(P48)、「鳥取市雇用創造戦略方針の推進」(P92)などの施策の中で、人口減少や少子高齢化の進展に歯止めをかけるための取組みを進めます。</p>	行財政改革課
4	全体	個人	—	<p>緑豊かな森の中に街が在る。子供から老人まで散歩が出来、買い物が出来、芸術を楽しむ、子供を安心して育てることが出来る街、市民が誇りに思える街ができたとき、他県からの人々が訪れ、或いは砂丘や山陰海岸を訪れた足で市内に入り、ショッピングや飲食、宿泊に至るでしょう。</p>	その他	<p>貴重なご意見ありがとうございました。ご意見については、この計画に掲げる施策等を推進し、実現をめざしていきたいと考えています。</p>	行財政改革課
5	全体	個人	—	<p>問題の現状を知ってもらうために写真で表わすことやボランティアの参加実績の内容・鳥取市民一人一人に今後どのような影響をもたらすのかを伝え、それを含めての問題の提示をすることで、市民の意識向上に繋がるのではないのかと思う。あまり一人一人では動きにくい部分もあるために、問題を提示した後でこの計画案により具体的な活動内容を計画しておくことが有効なのではないのかと思う。</p> <p>鳥取市が一体どんな行動で将来を作るかを、まずは市が具体的に示し、そして市民に対して個人個人が問題に向き合わせ、協働の社会を築くために参加を呼びかける。最も重要なのは協働のための共同体の形成であるのではないのでしょうか。</p>	盛り込み済み	<p>わかりやすい内容とするため、平易な文章、写真、図などにより表現を工夫しています。</p> <p>具体的な事業については、今後策定する実施計画で明らかにすることとしています。</p> <p>また、協働のまちづくりを推進するまちづくり協議会の活動支援をリーディングプロジェクト(重点的な取組み)に位置づけ、地域の課題を解決に向けて活動する市民、団体の育成支援等に取組むこととしています。</p>	行財政改革課
6	全体	団体	—	<p>合併時に作成された「新市まちづくり計画」は第9次鳥取市総合計画に引き継がれていきますか。</p>	盛り込み済み	<p>「新市まちづくり計画」や「第8次総合計画」を踏まえて作成しています。</p>	行財政改革課

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
7	全体	団体	—	鳥取市だけの総合計画を見てこの計画が適当なのかどうかは判断できない。松江市、岡山市などの総合計画と比較してみることも必要。	その他	総合計画は、それぞれの自治体を持つ地域の特性や資源を活かした長期的なまちづくりの方針を示すものです。そのため、計画内容は自治体によって異なり、比較は困難ですが、施策等については類似自治体の先進事例を参考としています。	行財政改革課
8	全体	団体	—	こういう大きな計画を決めるときは、地域審議会でも分野別に分けて検討すべきではないか。	その他	この計画は、地域審議会をはじめ市民まちづくりワークショップなど、市民からの意見・提案等を反映して作成しています。	行財政改革課

【基本構想】

(2)第2章 計画の役割と期間等について

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
9	計画の構成 と期間	個人	1	まちづくりの項目や地域文化の項目について言うと、第8次総合計画やそれ以前の総合計画案の時にあまり変わっていない様なので10年間の計画として掲げるより寧ろ、恒久的な市のまちづくりのテーマとして掲げた方がよいのではないだろうか。	参考意見	この計画は、第8次鳥取市総合計画に基づく事業の成果や社会経済情勢の変化などによるまちづくりの課題などを踏まえつつ、長期的な視点で、地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るために策定しています。	行財政改革課
10	計画の構成 と期間	個人	1	基本計構想（10年）基本計画（5年）ありますが、超長期的（10年以上の）なビジョン・指針が必要ではないでしょうか。市民が希望を育てる・住みたい鳥取市を長期的なビジョンで示す必要があると思います。（策定されているのであれば、もっと市民に周知をお願いしたいです）次世代により良い鳥取市を残したいと思います。	参考意見	本市では、社会経済情勢の変化などによるまちづくりの課題に迅速、的確に対応でき、市民に最適なサービスの提供ができるよう、10年間を期間として計画を策定しています。 ご意見については、今後の総合計画策定にあたり、参考とさせていただきます。	行財政改革課
11	計画の進行 管理	個人	2	本計画は「第8次鳥取市総合計画」を踏まえ策定されたものとありますが、前計画の検証は十分なされたのでしょうか。本計画にも進行管理としてPDCAサイクルがうたっていますが、長期的ビジョンでのPDCAサイクルを回すことも重要ではないでしょうか。	その他	ご指摘のとおり、長期ビジョンである総合計画の策定にあたっては、前計画の成果や社会経済情勢の変化、市民ニーズを踏まえ、大局的なPDCAサイクルを行う必要があると考えております。 「第8次総合計画」の成果や課題の検証は、事業の実績や数値目標による進行管理のほかに、「まちづくりに関する市民アンケート(H21年度実施)」などにより行っています。	行財政改革課

(3)第3章 人口と財政の長期的な概況と見直しについて

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
12	人口・世帯 数の見直し	個人	3	人口の見直しについて、H32年193千人を想定しているが、都市計画マスタープランでは198千人に想定してあった。H18年都市マスの想定以上に人口減少が進んでいる現実を注記書きの中にでも必要ではないか？	その他	人口の見直しは、近年の人口減少の傾向や定住対策の成果等を勘案し、この計画の期間である平成32年度までの将来人口を見直したものです。 ご指摘のような、人口減少が想定以上であったことについては、注記はしませんが、第4章の時代の潮流とまちづくりの課題「1 人口減少と少子高齢化の一層の進展」(P6)を記載しています。	行財政改革課
13	人口・世帯 数の見直し	個人	3	図表は統計的に推移したらこうなるという推計ですが、これではいけないと思います。 すなわち人口減少に対して所帯数が増えること、核家族化がより促進されることを現しています。 このことが家族の絆を断ち家族崩壊をもたらし、育児、医療、福祉、はたまた人間形成などへ大きく影響しているのです。 さらに核家族化が不動産・住宅産業への貢献を果たしている反面、乱開発やまちの修景破壊つまりまちづくりへの阻害、田園風景つまり里山、奥山と農村崩壊をもたらしているのです。 このことに関して「まちづくり」以降の政策でことたれりて無いことが明白です。 従って、核家族化を阻止しいわゆる家族制度の見直しと改善が施策に盛り込まれてしかるべきと考えます。	その他	ご指摘のような、子育て、教育、地域コミュニティなどの各分野に核家族化の進展がもたらす様々な課題への対応については、「家庭、地域の子育て力の向上」「地域で活躍する人材の育成・支援」などの施策において、解決に向けた具体的な取組みを進めることとしています。	行財政改革課

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
14	人口・世帯 数の見直し	団体	3	青谷町の10年後の推計人口は出てないのか。将来の周辺部のあり方を検討するためにも推計していないと意味がない。	その他	地域別の人口推計は行いませんが、施策、事業実施にあたっては、地域の人口を踏まえます。	行財政改革課 中山間地域振興課
15	人口・世帯 数の見直し	団体	3	地域の人口推計をもとに、その町にあった施策をしていただきたい。	その他		行財政改革課
16	人口・世帯 数の見直し	団体	3	国の人口は今後10年間で3.5%減少するのに、市は2.5%の減少と予測されている。この差はなぜか。	その他	人口減少に歯止めをかけるために取組む、若者定住対策や雇用対策などの効果を勘案しています。	行財政改革課
17	長期財政見 直し	団体	4~5	財政の見込みについて、三洋電機の関連企業が撤退したら税収に大きな影響があると思うが、この計画に加味してありますか。	その他	景気の動向につきましては、予測困難であるため、市税の見直しは過去の推移をもとにシミュレーションしたものとっていますが、財源的には、市税が減収すれば、その額の4分の3に相当する額が普通交付税として措置されることから、歳入全体額への影響は誤差の範囲内となるものと考えます。	行財政改革課
18	長期財政見 直し	団体	4~5	職員の人件費の削減を進めているということだが【鳥取市の財政の見直し】のグラフでは具体的な数字が見えてこないし、分かりづらい。	修正	長期財政の見直しに歳入・歳出別内訳表を追記しました。	行財政改革課
19	長期財政見 直し	団体	4~5	これから歳入減になり、かなり大変だろうと思いますが、総体的に事業をするのではなく、重点事項を中心に推進して行くのがいいと思います。	盛り込み 済み	本市の地域特性などを踏まえ、基本計画に掲げる施策のうち、重点的な取組みを6つの「リーディングプロジェクト」に位置づけ、積極的に推進していくこととしています。	行財政改革課
20	長期財政見 直し	団体	4~5	公債費を抑制するとあるが、実現可能か。	その他	市町村合併後に計画的に取組んできた市債の厳選により、公債費のピークは平成20年度となり、以後、遞減しています。この計画期間中において、新たに大型事業が加わったとしても、これまでの効果が持続し、遞減するものと見通しています。	行財政改革課

(4) 第4章 時代の潮流とまちづくりの課題について

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
21	鳥取市を取り 巻く社会 経済情勢	個人	6~ 11	挙げられている8項目はご尤もですが、このことが基本構想、基本計画への盛り込み方が不十分な点が見受けられます。総合計画は市民に与える希望や夢が現実を直視しながらもっと強烈でなければならないと思うのですが、インパクトに欠けていることが否めません。	その他	この計画には、「若者の流出」、「高速道路の開通」、「中山間地域の衰退」など、本市を取り巻く社会経済情勢や市民ニーズに地域資源(特性)を活かして取り組むこととしており、これらの取組みをリーディングプロジェクト(重点的な取組)として位置づけるなど、独自性のある計画となるよう工夫をしています。	行財政改革課

(5) 第5章 まちづくりの方向～人を大切にすまをめざして～について

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
22	まちづくり の目標	個人	15	街づくりの目標の中に、「地域交流」「おもてなしの心」の2つのキーワードが欲しい。(目標よりも具体的施策の中で書き込みがあるのかもかもしれませんが)	その他	「地域交流」、「おもてなしの心」のキーワードは、まちづくりの目標よりも、具体的施策に盛り込むことが適切と考えます。 なお、基本計画「ビジットととりの展開」、「交流拠点の魅力創造」などの施策に記載しています。	行財政改革課
23	まちづくり の目標(緑 あふれる 日本一のふ るさとづく り)	個人	17	鳥取市を取り巻く自然環境を生かした環境共生型のまちづくり、例えば一大トレッキングコース(日本一)などの整備に道を開く文言が欲しい。(市民の健康と県外者の誘致にも関連)	参考意見	ご提案については、今後の具体策又は取組みの参考とさせていただきます。	行財政改革課

(6)第6章 土地利用の方針について

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
24	土地利用	個人	19	(第1節 都市的土地利用) 中心市街地に商業機能の集積を図り、回遊性・賑わい創出を図ることは、勿論大切であるが、中心市街地内におけるエリアの特性を活かした活性化(商業地と住宅地などの機能分担)が必要だと考えます。	修正	ご指摘のような中心市街地のエリアの特性を活かした活性化については、基本計画の「中心市街地の活性化」の施策の中に位置づけ、各種施策に取組むこととしてしています。 なお、土地利用の方針については、本市がめざしている中心市街地をはじめ本市の地域(エリア)の特性を活かした機能の充実を図りながら、まちづくりを進めるといった記載内容に修正します。	市街地整備室
25	土地利用	個人	19	(第2節 自然土地利用) 農用地の高度化や農業経営の合理化・近代化を進めるとありますが、必ずしも合理化や近代化が良いとは考えられません。これを行うと小規模な農業者や個人農業者はいなくなるのでは。小規模でも永続的に農業を行うことができる仕組みが必要ではないでしょうか。鳥取市に田畑などの風景は必要だと思います。(環境という大きな視点で考えても)	盛り込み 済み	小規模でも永続的に農業ができるしくみについては、基本計画の「農林水産業の振興(P83~85)」の施策の中で、規模の大きさに関わらず、農産物の加工や販売促進など、農業者の創意工夫による営農の継続・発展に向けた取組みを支援していきます。	農業振興課

【基本計画】

(7)基本計画全体について

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
26	基本計画 全体	個人	31~ 100	「現状の課題」の表現である。この計画案の中には多くの鳥取市が抱えている問題があります。しかしながら、その問題に対しての意識が伝わりにくい感じを受ける。これでは市民に対して、自分達に直結する内容が分かりにくいために、参加意欲も出にくいのではないのかと思う。	その他	現状と課題は、本市を取り巻く社会経済情勢や市民ニーズ、求められる取組みなどを明らかにしています。この計画は、市民等との協働により推進する計画として、市民委員で構成する鳥取市総合企画委員会での審議や市民ワークショップを開催するなど市民の意見・提案等を反映しながら策定を進め、可能な限り、市民にとって身近な課題としてわかりやすい表現となるよう努めています。	行財政改革課
27	基本計画 全体	個人	31~ 100	「めざす方向」というのは無くても良いのではないのかと思う。現状の課題と施策が記されているため、「めざす方向」というのは、むしろ市民一人一人が想像していくことで無限に広がっていくことになるのでしょうか。現状の課題に対して個々の目標を自ら考え動く姿勢こそが、鳥取市民の協働へと繋がっていくことになるのではないのかと考えます。	その他	めざす方向は、課題の解決に向けて展開する施策の方向性を明らかにしています。この計画は、市民等との協働により推進するものとしており、そのためには、まちづくりのめざす方向性を市民と行政が共有し、取組みを進めることが、より効果的であると考え記載しています。	行財政改革課
28	基本計画 全体	個人	31~ 100	「施策の主な内容」に関しては、もっともっと具体的な行動の計画と期待しているのではないのでしょうか。この計画案は「整備します」や「充実します」・「推進します」と言った表現が数多くあり、市が市民に対してどのような行動で鳥取市の今後の良さをアピールしているのか曖昧ではないのでしょうか。	その他	「施策の主な内容」は、基本構想に掲げる将来像、まちづくりの目標の実現に向けて展開する施策の主な内容を明らかにしています。具体的な事業については、今後策定する実施計画で明らかにしていきます。	行財政改革課
29	基本計画 全体	個人	31~ 100	「成果目標」に関しては、今の状態を分からない市民が多くいると考えるので、一つ一つ増やしていく姿勢を込めて表さない方が、意欲が伝わるのではないのでしょうか。この計画案では%や人数で表されていますが、どうしても伝わりにくい印象を受けます。	その他	成果目標は、施策の成果が市民にわかりやすく説明するために、基準値と目標値を掲載しています。成果目標の基準値は、平成21年度など直近の把握できる実績値であり、目標値はこれまでの傾向や施策の成果等を勘案して設定しています。また、成果目標の算定根拠などを指標の説明に記載しています。	行財政改革課
30	基本計画 全体	個人	31~ 100	いくつかの施策項目で示されていた成果目標や管理指標の基準値はどのような数字を根拠にどのような計算を行って算出しているのかよく分からなかったため、基準値の計算についても説明を加えて欲しい。	その他		行財政改革課
31	基本計画 (全体)	団体	-	基本計画で感じたことは、中心市街地に特化してつくられているように思われる。中心市街地以外にも目を向けた基本構想や基本計画であって欲しい。 例えば、27頁に青谷海岸・井手ヶ浜海岸の「鳴り砂」の浜の保全を入れて欲しい。全国的に珍しく、県下では唯一の「鳴り砂」の浜であり地域住民はこの浜の環境保全に取り組んでおり、市としても保全と宣伝に力を注ぐべきである。74頁も同じことがいえる。	その他	「中山間地域の暮らしを支えるプロジェクト」をリーディングプロジェクト(重点的な取組み)として位置づけ、中山間地域の豊かな自然環境などを活かした活性化施策に取組みます。 また、基本計画では、主な施策の内容を記載しており、具体的な取組みは実施計画に盛り込むこととしています。	行財政改革課
32	基本計画 (全体)	団体	31~ 100	成果目標が謳ってあるが、全般に目標数値の設定が低いと思う。もっと高くすべきではないか。	その他	成果目標の目標値は、これまでの傾向、今後の施策展開による効果などを踏まえて設定したものです。目標値の達成をめざし、各種施策の取組みを推進したいと考えています。	行財政改革課
33	基本計画 (全体)	団体	31~ 100	基本計画に成果目標の数字が掲載してあるが、どのような基準をもとに目標を定めた数値なのか。	その他		行財政改革課

(8)第1章 「人を大切にすまち」リーディング プロジェクトについて

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
34	リーディングプロジェクト	団体	23～29	鳥取市の特徴を具体的に発信し、何に力を入れたいか分かりやすく示して欲しい。 我々が目標とすることが何なのか市民に分かるようにして欲しい。	盛り込み 済み	本市の地域特性などを踏まえ、基本計画に掲げる施策のうち、重点的な取組みを6つの「リーディングプロジェクト」に位置づけて掲載しています。また、施策の成果を数値で表す、成果目標を設定しています。	行財政改革課
35	自然環境や伝統文化を守る会的な「とっとりライフ」プロジェクト	個人	27	「とっとりライフ」というキーワードは非常に良い切り口です。今後の活性化推進のための重要なキーワードとなる。さらに、鳥取ライフを活用した「新たな生活提案・豊かで潤いのある生活」というライフスタイルが模索できると考える。そのための書き込みもあればさらにいいが・・	盛り込み 済み	移住・定住の促進の施策「むらとまちの交流・グリーンツーリズムの促進」、「UJターン促進」などの中で、「スローライフ」「田舎暮らし」「二地域居住」などの多様なライフスタイルを提案できる取組みを推進していきます。	行財政改革課 中山間地域振興課
36	中山間地域の暮らしを支えるプロジェクト	個人	29、81～82	(中山間地域における居住安定化の促進) 鳥取市にも限界集落の問題や独居老人の問題は深刻だと思えます。独居老人でも人々と触れ合える仕組みや充実した福祉環境の整備、日常の買い物支援など、最後まで安心して暮らせる鳥取市の仕組みを望みます。	盛り込み 済み	中山間地域の安心・安全な暮らしの確保については、リーディングプロジェクト(重点的な取組み)に位置づけ、「中山間地域対策強化方針」に基づき、公共交通の確保、生活支援サービスの充実など安心して暮らせるしくみづくりに取組みます。	中山間地域振興課

(9)第2章 計画推進における基本方針について

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
37	行政経営基盤の強化	個人	33	住民と行政とが連携するためには何よりもまず、住民と行政の間に信頼関係がなければなりません。役場に書類や情報誌を取りに行った際には、事務的な会話で終わってしまう場合が多い。たまには他愛のない話ができればいいなと思う。仕事中に長話はできないかもしれないけれど、日常会話の中で住民と行政の意見を交換することができる。	その他	様々な機会を通じて、市政に関する市民からのご意見を把握することは、市政推進をするうえで重要なことと考えています。今後も、身近な行政として、市民への最適なサービスを提供していきます。	職員課
38	行政経営基盤の強化	個人	33	土・日・祝日も役場を開けて、住民の質問に的確に答えられる専門知識を持った職員が常に役場に在る状態をつくるというのはどうか。「年中無休」とまでは言わないが、そのような状態をつくることで「いつでも役場に行って相談ができる」という安心感を住民に与えることができる。また「住民と行政の垣根が低い」「住民と行政の仲がよい」といったことが新たな魅力になると考える。	その他	ご指摘のような土・日・祝日の閉庁時の相談体制として、メール、FAX、公式ウェブサイト相談等を受け、翌開庁日に対応しています。また、日常生活の困りごと相談としては、夜間、閉庁日における電話相談体制を整備しています。 また、昼間、市役所を訪ねることが難しい方や、仕事帰りの方などの利便を図るため、鳥取市役所本庁舎内の「市民課証明コーナー」は、土・日・振替休日、平日(水曜以外)の午後7時まで開所しています。 今後も、多様な市民ニーズや地域における身近な課題に対応できるようなサービスを提供していきます。	職員課 市民総合相談課
39	行政経営基盤の強化	個人	33	合併後に、65歳を超えた祖父、祖母は、「いちいち市役所までいかんといけんのが面倒くさい。」「総合支所はあるけど、だいたい市役所に行ってくださいと言われる。」と合併後の不便を言っている。 書類を出すために、市役所に行くにもバスの本数も非常に少なく、市役所に行くためでも半日や一日の大半を使ってしまう。第9次鳥取市総合計画の冒頭部分に書いてある曖昧な分かりにくい言葉での説明ではなく、市民にとって「最適な行政サービス」と書いてある部分が一体何なのか、実際に何を求められているのか、生の声に耳を傾けることから始める必要がある。	その他	本市では、合併後においても、市民生活に関わる基本的な手続きは、各総合支所でできる体制を整備しているところです。 市の業務全般に関する意見・苦情・相談・質問を総合的に受け付け、迅速かつ的確に対応するため、「市民総合相談窓口」を開設しておりますので、お気軽にご意見をお寄せいただけたらと思います。	行財政改革課
40	行政経営基盤の強化	個人	33	市庁舎問題は改築有りが議論がすすめられることがないよう希望します。 市庁舎に限らず市民の貴重な原資で作られる施設は市の発展につながるものでなければ、例えば中心市街地活性化とは切っても切れない関係でしょう。	その他	市役所の庁舎の整備については、議会特別委員会並びに鳥取市庁舎耐震対策検討委員会の「新庁舎の建設を推進すべき」という報告をいただいたところです。 現在、市民アンケート並びに現庁舎の現況と課題の把握、新庁舎の規模・機能や建設候補地の検討などの基礎調査を実施しており、また、市民団体・各種団体などの代表者で構成する「鳥取市庁舎整備に関する検討委員会」を設置し検討する予定としています。市の発展につながるよう、市民に対し広く情報提供を行い、合意形成に努めていきます。	財産管理課
41	行政経営基盤の強化	個人	34	(その2 財政基盤の強化) ネーミングライツ(命名権)などの新たな歳入確保とありますが、これは全国の事例を見ると失敗しているケースがかなりあるのではないのでしょうか。 企業の名前が付くと施設のイメージが分からない、業績により広告主が頻繁に変わる、広告主のイメージが付く(広告主の不祥事例：西部ドームのグットウィルなど)などのリスクが大きいと思います。全てが悪いわけではないと思うので、ネーミングライツの導入には慎重に行ってほしいです。	その他	ネーミングライツの取組みは、新たな財源の確保とともに地域産業の活性化のための広告事業として実施しています。 導入は、メディアへの露出度等を十分考慮し、広告媒体として魅力のある施設を対象としており、広告主の選定にあたっては、広告掲載要綱・基準を定め、審査しています。 また、契約期間は複数年とし、施設名が頻繁に変わらないよう配慮しています。 今後も導入について、慎重に行っていきます。	財産管理課

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
42	行政経営基盤の強化	団体	33	本庁舎の建て替えも第9次総合計画に入るのか。	その他		財産管理課
43	行政経営基盤の強化	団体	33	合併時に駅南庁舎を買取したばかりなのに、新庁舎の建設は市民の同意が得られないのではないのか。	その他	市役所の庁舎の整備については、議会特別委員会並びに鳥取市庁舎耐震対策検討委員会の「新庁舎の建設を推進すべき」という報告をいただいたところです。 現在、市民アンケート並びに現庁舎の現況と課題の把握、新庁舎の規模・機能や建設候補地の検討などの基礎調査を実施しており、また、市民団体・各種団体などの代表者で構成する「鳥取市庁舎整備に関する検討委員会」を設置し検討する予定としています。市民に対し広く情報提供を行い、合意形成に努めながら取り組んでいきます。 また、これらの検討結果を踏まえたうえで、今後の中心市街地の対策を検討していきます。	財産管理課
44	行政経営基盤の強化	団体	33	市庁舎の整備で場所とか具体的なことに触れられていない。建設場所によっては中心市街地の対策も変わってくるのではないのか。	その他		市街地整備室
45	行政経営基盤の強化	団体	33、66	市役所庁舎の改修、又は新築移転について、民間検討委員会のメンバーに新市からのメンバーを加えて欲しい。	その他	「鳥取市庁舎整備に関する検討委員会」の委員は、市民団体・各種団体の代表者などで構成する予定としており、地域審議会の代表者の方にも委員への就任を依頼する予定です。	財産管理課
46	行政経営基盤の強化	団体	30	基本方針2「市民視点を重視し、…」とは、どのようなことをされながらしていくのか。	その他	将来にわたり、市民が納得できるサービスを提供するため、市民ニーズを踏まえた業務の継続的な改善や施策等の選択と集中に取り組むこととしています。	行財政改革課
47	行政経営基盤の強化	団体	5	「鳥取市の財政の見通し」に関連して、他県の市と比較して鳥取市は議員が多いように感じる。将来的には減員を進めるべきではないか。地区の要望等は、自治会を通じての[地区要望]を活用すればよい。	その他	本市の議員定数は、地方自治法で定められている人口区分に応じた上限数である38名より2名少ない36名と条例で定めています。 人口区分は、直近の国勢調査の結果を用いて判定され、今後の議員定数については、平成22年10月に実施された国勢調査の結果を踏まえて議論されるものと考えます。	市議会事務局
48	都市間連携の強化	個人	35	因幡圏域との連携推進について、表現方法の問題だと思うが、鳥取の活力を取り戻すために中距離圏内の地域との活発な交流が必要であると考えます。(伯耆・美作・但馬の3地域との人・モノ・カネ・情報の交流)	盛り込み済み	中距離圏内の地域との交流・連携については、都市間連携の推進の取組みとして位置づけ、県内外を問わず、近接する自治体との連携を図ります。	企画調整課

(10)第3章 施策の展開について

①次代を築き担う、たくましい子どもを育む

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
49	子育て応援の充実	個人	39～40	子育て支援に関する体制について、例えば第3子以上のご息が誕生された場合、御祝い金を出すとか、子育て支援に対するさらなる手厚い支援があってもいいのではないのか	その他	現在、子育て支援として、第3子以上の保育料の軽減を行っています。今後も、引き続き、子育て支援の充実に取組みます。	児童家庭課

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
50	子育て応援 の充実	個人	39~ 40	安心して妊娠、出産、子育てができる支援体制の整備について…子どもを生みたいと思っている女性の数が年々減ってきているように思います。その理由はさまざまですが、やはり一番の理由は雇用情勢の悪化などから経済的な余裕がなく、安心して子育てできるという確信が持てない事からきているものではないかと思えます。 特に子育てをしていて一番多くかかる費用は医療費であり、働きながら子育てをする母親は子どもの病気や入院により休暇を取らざるを得ない状況になる為、「収入の減少+医療費の負担」という大打撃を受けることとなります。鳥取市では共働き率が高く子どもを抱えながら働く母が多く見られます。その中で「小児医療費助成制度の対象年齢の拡大」は大変ありがたいと子どもを抱える母親にとって大きな支えとなるため、ぜひこの制度を実現させてほしいと思います。	参考意見	貴重なご意見ありがとうございました。今後の子育て支援制度の充実のための具体策又は取組みの参考とさせていただきます。	保険年金課
51	子育て応援 の充実	団体	39~ 40	児童公園を整備して、子育て支援に繋げて欲しい。	盛り込み 済み	公園など子どもが安心して遊ぶことができる場の整備としては、公園等の芝生化をリーディングプロジェクト(重点的な取組み)として位置づけ、子どもたちの体力向上や健全育成などに取組んでいきます。	児童家庭課 都市環境課
52	教育の充実	個人	41~ 42	(教育の充実) 鳥取環境大学の改革・公立化とありますが、公立化には十分議論を行ってほしいです。現在の現状を考え、本当に魅了ある教育内容とはなにかを考えてほしいと思います。環境的には厳しい鳥取ですが、教育環境の面では全国でもトップになるようにしてほしいです。	参考意見	現在、県、市、鳥取環境大学で共同設置した「新生公立鳥取環境大学設立協議会」において、鳥取環境大学の公立大学法人化とともに、大学の教育内容の改革や魅力づくりのための方策などを検討しています。 協議会では、県内高校2年生とその保護者、企業経営者、高校教員などを対象として平成21、22年に実施した「鳥取環境大学の教育内容やあり方に関するアンケート」の結果をはじめ、経済界、学識経験者などからの意見聴取や高校訪問を行うなど、各層からの意見をお伺いし、市や県にとって必要な大学教育の内容などを検討しています。 大学の公立化は、地域の方々の理解なくしては実現することができないものであり、公立化により、大学には、市や県の政策課題を解決するための研究・教育の実践など、一層の地域貢献が求められます。 このようなことから、大学の改革にあたっては、教員や学生が地域で積極的に活動を行い、地域の方々に支えられながら、研究・教育活動を行う体制づくりが重要であると考えています。 鳥取環境大学が地域のための大学として生まれ変わり、全国に誇れる教育内容を構築できるよう取組みを進めていきたいと考えています。	鳥取環境 大学改革 推進室
53	教育の充実	個人	41~ 42	環境大学の県立化は是非進めて頂きたいと考えます。その中で、街なかサテライト教室とか、社会人大学等の講座を街なかで開催できる体制を構築頂きたい。	参考意見	また、協議会では、大学の教育内容の改革や魅力づくりのための方策なども検討しています。 鳥取環境大学の魅力づくりのためには、高校生はもとより、社会人にとっても魅力ある教育内容を実現することが重要と考え、社会人を対象としたオープン講座や公開講座の充実、リカレント教育の推進などについても検討を進めています。 ご意見については、今後の社会人にとってより受講しやすい講座のあり方の検討において、参考とさせていただきます。	鳥取環境 大学改革 推進室
54	教育の充実	団体	42	小中一貫校は市自治連としても提言しているが、小中一貫教育と小中一貫校とは同じ意味か。	その他	「小中一貫教育」とは、小中学校の教育内容に一貫性をもたせた教育方式のことで、「小中一貫校」はその一形態として、施設、組織・運営等を一体化した小中学校のことです。	学校教育課

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
55	教育の充実	団体	42	生徒が減少してくれば複式学級等も含め合理化が進んでくと思うが、校区再編構想はどのように進むのか。	その他	鳥取市の人口の減少とともに少子化も進展し、児童生徒数も更に減少することが予測されています。この現状をふまえ、児童生徒にとってよりよい教育環境を整備するため、全市域を対象とした学校配置と校区設置の検討を進めており、現在、校区審議会において校区設定の基本的な考え方や指標について審議し、平成25年度を目途に答申していただく予定です。 教育委員会では、この答申の内容を基に保護者や地域の皆さまのご意見を伺いながら、地域の環境や特性等をふまえた総合的な観点から必要と判断される校区再編について実施していくよう考えています。	学校教育課
56	教育の充実	団体	42	不登校生徒の出現率の成果目標の数値は挙がっているが、学校の耐震診断の数値は挙がっていない。	修正	ご指摘を踏まえ、小中学校校舎耐震化率を成果目標に追加します。	教育総務課
57	教育の充実	団体	41～ 42	最近の子供は、挨拶が出来ない子が非常に多いので、具体的に施策の中に入れて欲しい。	盛り込み 済み	基本計画の施策の「家庭や地域の教育力の向上」の中で、家庭や地域における子どもたちのモラル・ルールを大切にする意識の醸成を位置づけ、取組むこととしています。	教育総務課

②文化・芸術に親しみ、楽しむ

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
58	文化芸術の 振興	個人	43～ 44	若手工芸作家や芸術家に対する作品買い上げや発表の機会の場が創出できる支援があればいいのではないかと？	盛り込み 済み	文化芸術の作品発表の機会や市民の芸術文化活動の支援については、文化芸術の振興の施策の中に位置づけ、「鳥取市文化芸術振興条例」及び「鳥取市の文化芸術に関する基本方針」などにに基づき、地域の伝統に培われた文化芸術の保存、継承及び活用に取り組めます。	文化芸術 推進課
59	文化財の保 存・活用	個人	45～ 46	文化財としての「鳥取民芸美術館」の存続できるための支援をお願いしたいと考えます。民芸運動推進者の吉田章也を顕彰し、民藝の鳥取を全国にアピールできる重要な地域資源であると考えます。	その他	文化財の存続支援は、文化財遺産の保護と整備の中で取組むこととしています。 ご提案の「鳥取民芸美術館」の建物は、所有者や民芸協会の意向等があれば、国登録有形文化財への登録に向けた支援などを検討できるものとなります。 なお、「鳥取民芸美術館」の収蔵品のうち「百歳祝着」は市指定文化財として指定し、また、吉田璋也氏については、第8号の名誉市民として顕彰するなど、本市の地域資源、魅力の一つとしてPRしています。	文化財課

③個性を活かし、活躍できるしくみをつくる

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
60	協働のまち づくりの推 進	個人	47～ 48	NPOの育成の一環として、新たなNPOが設立できやすくするよう財政的、人的支援を確立する。県の業務であるNPO窓口と連携し、街なか活動団体の組織的基盤を確立させる支援の仕組みが必要。	盛り込み 済み	NPOの育成支援については、リーディングプロジェクト(重点的な取組み)として位置づけ、地域で活躍する人材の育成・支援に取り組めます。また、NPOなどの市民活動拠点「アクティブとっとり」を中心として、活動を支援しています。 ※ここで言うNPOとは、NPO法人のみではなく、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し収益を分配することを目的としない団体の総称としています。	協働推進課
61	協働のまち づくりの推 進	団体	24、 47～ 48	地域のまちづくり協議会が取り組むまちづくりとの計画との関係はどうか。	その他	各まちづくり協議会の策定される「地域コミュニティ計画」は、その地域に暮らす皆さんが地域の課題や自分たちの地域をどのようにしたいかという目標を決め、地域住民一人ひとりが自主的に地域コミュニティ活動に参加するための方針として協議会で策定されているものです。 一方、総合計画は、本市全体としてのまちづくりの方向性を示すため、市民等との協働により市が策定するものです。「地域コミュニティ計画」の策定にあたって参考としていただけたらと思います。	コミュニ ティ支援 室
62	生涯学習の 推進	個人	49～ 50	人材育成の項目で、高校生、中学生が塾以外に自主学習ができる場を提供する必要があるか。鳥取の実情から自宅学習も重要であるが、学生同士が切磋琢磨できる場の提供は必要である。	盛り込み 済み	高校生、中学生をはじめ市民が自主学習できる場として、中央図書館、用瀬図書館、気高図書館にスペースを設置しています。生涯学習の推進の施策の中で、図書館をはじめ生涯学習施設の機能充実などに取組むこととしています。	生涯学習課

④互いの人権を尊重し、心豊かな社会をつくる

意見、提案なし

⑤健康を守り、いきいきと元気に暮らす

NO	ご意見対象箇所	区分	資料P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
63	保健、医療、福祉の連携強化	個人	55～56	最先端医療の可能なドクターの誘致と、そのための医療設備・施設の拡充を図ることが出来ないか？	その他	市立病院は入院治療を必要とする重症患者等に対応することを役割とする二次救急病院であり、ご意見のような最先端医療、特に高度な処置が必要または重篤な患者への対応は、三次救急を担う病院の役割とされており、地域における医師不足は大きな課題であり、特に高度な処置が必要な場合には、三次救急を担う病院に紹介するなど、医療機関同士の連携による医師確保対策の強化などを地域医療体制の充実に位置づけ、取組むこととしています。 また、市立病院は、地域がん診療連携拠点病院として、計画的に高度医療機器を更新するなど、診療機能や設備の充実に努めてまいります。	市立病院
64	スポーツ・レクリエーションの振興	個人	59～60	ガイナレ鳥取がJリーグに昇格したことを地域活力の創出につなげ取組みが必要ではないか。	盛り込み済み	ガイナレ鳥取を活用したまちの魅力や活力の創造については、「スポーツによる地域振興」の施策の中に位置づけ、地域活力の創出に向けたスポーツ振興として、市民のガイナレ鳥取への応援意識の醸成を図りつつ取組みます。	体育課

⑥住み慣れた地域で、支え合い、安心して暮らす

意見、提案なし

⑦互いに協力し、くらしの安全を守る

NO	ご意見対象箇所	区分	資料P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
65	地域防災力の充実	団体	65～66	自助努力には限界がある。災害防止の観点からも自主防災組織の充実を図るとともに、人材を育成して欲しい。	盛り込み済み	地域防災力の充実の施策「市民の災害対応力の向上」の中で、人材育成を含む自主防災組織等の活動支援について位置づけています。 なお、ご指摘を踏まえ、施策の内容をわかりやすくするため、自主防災組織の活動支援をする「地域防災リーダー」、「防災指導員」を養成する旨の記事を追加します。また、「防災コーディネーター」の脚注を追加します。	危機管理課
66	防犯・交通安全対策の充実	個人	67～68	見通しが悪い、狭い道などに、ドライバーに安全運転のためのマナーアップなどを呼びかける広告を設置してほしい。	その他	ドライバーの安全運転マナーアップの呼びかけは、防犯・交通安全対策の充実の施策「地域や家庭での交通安全活動の促進」の中で、ドライバーをはじめ市民への広報・啓発活動により交通安全への意識の向上を図っています。	協働推進課
67	防犯・交通安全対策の充実	個人	67～68	湖山池付近は、電灯が少なく暗い道路が多い。鳥根県では昨年、大ニュースになるほどの痛ましい事件が起きました。まだ犯人は捕まっています。鳥取でも防犯の意識を高め、住民の安全な暮らしの手助けをしてください。	その他	市民の安全な暮らしの確保については、防犯・交通安全対策の充実の施策「自主防災活動団体の支援」の中で、警察等の関係機関との協力により、防犯意識の向上、防犯パトロールの充実支援などに取組むとともに、地域の申請に基づく防犯灯の整備を行っています。	危機管理課 道路課

⑧地球環境を守り、誇れる自然と共生する

NO	ご意見対象箇所	区分	資料P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
68	循環型社会の形成	個人	71～72	レジ袋の有料化を考えていてもらいたい。いまではいろんな地域でレジ袋は有料なのである。(大抵は2～3円)さらにこの鳥取市ではごみ袋が指定なのでレジ袋の活用が出来にくいになぜ有料化しないのか。確かに「ノーレジ袋デー」と呼ばれるものがあるが、一日だけやって意味があるとは思えない。ホームページでもレジ袋の影響が書いてあるのになぜ有料化を施行しないのか。反対意見も多いと思うがこれはしっかり行動をおこしたほうがよいと私は考える。もしくは指定ごみ袋を安くしてほしい。	その他	レジ袋の有料化の推進については、ごみ減量化の推進の取組みの中に位置づけ、県、消費者団体等と連携し、ノーレジ袋推進のためにスーパー等各事業者に働きかけを実施しています。 ごみ袋の料金は、平成19年度の制度開始から5年を目途に検討することとしています。(平成24年度に検討予定)	生活環境課
69	循環型社会の形成	個人	71～72	(ごみ減量化の推進)鳥取市は街中などに回収待ちのゴミが、目に付きます。回収時間などの再検討をお願いしたいです。松江市などはゴミが出ていないように感じます。	その他	ご指摘いただいた、まちなかのごみ回収については、若桜街道周辺やお堀端、わらべ館などにおいて、景観を考慮し、優先的に回収を行っています。	生活環境課

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
70	循環型社会 の形成	個人	71~ 72	自然エネルギー（太陽・風・水、地下熱）等の利用をもっと前面に出すべきと思います。 地下熱利用のアレンジ版として河川水による熱交換は、先端技術は既に実用化されつつある。又地下熱は公共施設や住宅等の冷暖房、農業ハウスの温度コントロールなどに活用すれば温室効果ガス削減に寄与するのではないのでしょうか。地下熱は無尽蔵でCO2排出は殆どゼロです。	参考意見	貴重なご意見ありがとうございました。今後の自然エネルギーの利用促進をするうえでの具体策又は取組みの参考とさせていただきます。	生活環境課
71	環境保全活 動の推進	個人	73~ 74	森林回復、野生動物との共存を目的とした森林再生を行い、エネルギー資源としての活用も図る必要があるでしょう。これらは産業振興や雇用にも寄与するでしょう。	盛り込み 済み	森林の環境保全など多様な機能を踏まえた適切な管理・保全については、環境保全活動の推進の施策「自然保護意識の高揚と環境美化活動の促進」の中に位置づけ、市民活動団体等が主体となった森林整備などの活動支援とともに、雇用創出・環境の充実施策の中で、環境エネルギー関連産業創出などによる雇用の創造などに取組みます。	林務水産課 生活環境課

⑨快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
72	生活基盤の 充実	個人	75~ 76	高速道路の優先順位について、山陰地方の東西のルートを優先で整備し、現在の鳥取ICとの連結は少し遅らせ、必ず鳥取市内を通るような仕掛けが必要である。	その他	高速道路の整備については、生活基盤の充実の施策「快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる」の中に位置づけ、鳥取自動車道、山陰自動車道（鳥取西道路）、鳥取豊岡宮津自動車道を早期に整備し、高速交通ネットワークの形成に取組みます。 また、ご指摘のような高速道路利用者が市内を通る仕掛けとしては、観光資源の磨き上げ、農林水産物の産地化、特産品化の推進などをリーディングプロジェクト（重点的な取組み）に位置づけ、本市の魅力を高め、人やモノなどの交流が活発な地域づくりを推進します。	都市企画課
73	生活基盤の 充実	個人	17、 75~ 76	緑豊かなまちづくりの現状は逆の方向に市政が進められていると感じています。例えば、電線地中化される街路から街路樹が消える現象が随所に見られること、公共施設、公有地や道路の緑化、民有地の緑化について明確な表現が必要だと思えます。	その他	まちづくりの目標として、「緑あふれる日本一のふるさとづくり」を掲げ、実現に向けた取組みとして、生活基盤の充実の施策「快適で緑豊かなまちづくりの推進」の中で、「鳥取市緑の基本計画」に基づく緑地の適正な保全や公共空地の芝生化などを推進しています。	都市環境課
74	生活基盤の 充実	個人	75~ 76	湖山街道沿いの歩行者道路は道幅が狭く、凸凹。最近になって、一部の区間の道幅を広げる工事が始まったのですが、その区間がもっと広がればよい	その他	ご指摘の湖山街道（伏野・覚寺線）は県道であり、道路改良は県の事業となります。市道と同様、路面損傷等の状況をみながら緊急的なものを除き年次的に実施されていると伺っています。	道路課
75	公共交通の 確保	個人	17、 77~ 78	日本一を目指すには車中心で整備されてきた道路を歩行者、自転車に重点を移す時代に突入していると認識する文言が必要です。 3-1 鳥取市を取り巻く社会経済情勢で触れられている環境・エネルギー革新を受けて都市交通（郊外とのインターリンクを含む）の在り方を盛り込むことが必要と思えます。	盛り込み 済み	公共交通の確保の施策「新しい総合公共交通システムの構築」の中で、低炭素社会の実現をめざし、公共交通と自転車の利用促進、現状バス路線の再編や郊外型大規模店舗や病院などを結ぶ外循環バスの導入などに取組みます。	交通政策室
76	公共交通の 確保	団体	77~ 78	高速道路網の整備や環日本海交流のことも必要だが、山陰ジオパーク加盟に関連して、その沿線であるJR山陰本線の電化・複線化等の政策推進も挙げて欲しい。また、H32までには山陰ミニ新幹線の開通も望む。	その他	山陰ジオパークエリア沿線の鉄道整備については、公共交通の確保の施策「鉄道の利便性の向上」の中で、JR山陰本線の利便性の向上に関係機関と連携して取組みます。 また、余部橋梁の架け替えにより、JR線の定時制がより確保され、特急、普通列車の増便など、乗り継ぎ改善を図ります。	交通政策室
77	公共交通の 確保	個人	77~ 78	高速鉄道網の充実。京阪神からの移動時間の短縮を図る。京阪神（神戸）から1時間程度の特急で来鳥できれば、来街者が飛躍的に増加が期待できる。	その他	余部橋梁の架け替えにより、JR線の定時制がより確保されることとなりました。 引き続き、京阪神方面などからの鉄道による移動時間の短縮に向け、鉄道事業者等と連携して取組み、観光客等来街者の増加を図っていくこととしています。	交通政策室

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課		
78	公共交通の 確保	個人	77～ 78	鳥取市はもっと公共交通機関の整備に力を入れたほうがよい。汽車、バスでの移動が不便であると考えている。特に鳥取市内のバスはあまり使い勝手が良くないと考える。鳥取市にも百円バスがあり、確かに本数もとても多く、近くを回るのには使い勝手がよく、観光場所を見てまわったりしやすい。しかし、バスの利用者を高齢者と想定すると高齢者が病院に行くために使うバスとしては運転の範囲が狭すぎると考える。安城市では、本数がとても少ないものの、市内のほぼ全域にコミュニティバスのような百円バスが通っていた。また、高齢者を多くの利用者と考えているので、どの線路からでも病院に着くように出来ていた。また、民間バスでも病院までは賃金を安く抑える手ほどきをしていた。鳥取市でもより交通弱者に使いやすい路線バスを考えていってほしい。	盛り込み 済み	公共交通機関の整備については、「総合公共交通システムの構築」の中で、利便性が高く効率的でわかりやすい地域公共交通を実現するため、バス路線の再編、鉄道、タクシー、自転車等、他の交通手段との連携促進に取組めます。 また、高齢者の生活支援サービスとして、平成21年度から高齢者のバス利用負担の軽減に取り組んでいます。	交通政策 室		
79	公共交通の 確保	個人	77～ 78	(新しい総合共通システムの構築) コンパクトシティ構想や環境問題を考えると公共交通の充実を是非進めてほしいです。ただ、「ICカード」導入は公共交通機関の利用者が多い高齢者は分かりにくいのでは？導入するならその辺りを注意してほしいです。	参考意見	今後、交通系ICカードシステムの導入にあたっては、高齢者をはじめ市民にわかりやすい仕組みとするとともに、事前に十分な周知を行うなど、円滑な導入を図っていきます。 市民の公共交通機関の利用促進を図るため、「新しい総合公共交通システムの構築」施策の中で、利便性の高い公共交通の確保や低炭素社会の実現などに向けたバス、鉄道をはじめとする公共交通機関や自転車の利用促進に取り組めます。 このシステムの構築にあたっては、人、モノの流れなどを調査、検討を行うため実証運行を実施し、その結果などを踏まえ利便性や効率性が高く、わかりやすいシステムの導入を図ります。 また、中心市街地への観光客の誘客については、中心市街地の活性化の施策として、駅周辺の再整備、鳥取城跡観光の推進などに取組めます。	交通政策 室		
80	公共交通の 確保	個人	77～ 78	公共交通機関と市民の交通手段をどうコントロールできるかがキーポイントです。どの交通機関にシフトの重点を置くかが分かれ目でしょう。ことに中心市街地については、市街地の人々の動きを得るには密接な関係があります。高速道路偏重ではなく、鉄道という公共交通機関はもっともな省エネ、高効率輸送手段です。低炭素社会の構築の上でも絶対に外してはならないことです。人・物の流通の在り方はもっと綿密にして精密な調査と検討が求められます。たとえば道路にたよる観光客誘致は、道路の渋滞通過観光客など様々な隘路が確認されています。こうした政策だけでは中心市街地に県外客が立ち寄る機会は今も余り無いでしょう。	盛り込み 済み	ご指摘いただいた、鳥取空港へのLCC(格安航空会社)誘致は、今後の「鳥取空港の利便性の向上」を進めるうえでの具体策又は取組みの参考とさせていただきます。 また、外国人の観光客の受け入れ体制としては、多言語化表示による案内標識の設置や外国語版観光サイトの充実などに取組めます。	交通政策 室		
81	公共交通の 確保	個人	77～ 79	(鳥取空港の利便性の向上) 是非、LCCの誘致をお願いしたいです。もっと国際的な鳥取市にしてほしいです。外国人の観光客の受け入れ体制が必要だと思います。	参考意見	鳥取駅周辺エリアの再整備について…かつて駅周辺は「人が留まる場所」であったが、近年では「通過する場所」となってきました。商業機能の充実と歩行者にとって歩きやすく楽しめる環境をつくる事で、今までとは違う新たな視点でまちを楽しむことができますし、子どもを持つ親も安心して連れて歩くことができます。また駅周辺とは訪れる観光客にとって「鳥取」のイメージを左右する大変重要な場所であり、このエリアを整備する事はこれからの「鳥取」を大きく変える第1歩であると考えます。	盛り込み 済み	鳥取駅周辺の再整備については、「中心市街地の活性化」の中に位置づけ、「鳥取駅周辺再生基本構想」に基づき、商業機能の充実や歩行空間の整備などの取組みを進めることとしています。	市街地整 備室

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
83	中心市街地の 活性化	個人	79～ 80	<p>商店街の賑わい形成について</p> <p>①年々中心市街地では経営不振に夜店舗の閉鎖が相次ぎ、改修費用もないことからやむを得なく月極め駐車場になってしまうなどの現象が広がりつつあります。中心市街地が「空き店舗と駐車場しかないまち」となってしまうのは時間の問題です。そうならない為に是非商店街の空き店舗対策、店舗改修支援に力を入れていただき、若者が「お店を出したい」と思えるような魅力あるまちに変えていってほしいと思います。</p> <p>②昔の賑わいを取り戻したいと地域の方々と商店街店主らが連携し、様々なイベントを企画されていますが、自分の経営するお店の維持管理に追われ、十分なお金の余裕がなく断念される事も多いようです。魅力あるイベントを実現する商店街に対し支援をする事は今の商店街の現状から大変重要な事であると考えます。補助金などで支援をするだけでなく、イベントを行う事でその商店街に何かメリットが与えられるような施策も考えられてはどうでしょうか。</p>	盛り込み 済み	商店街のにぎわいを創出については、中心市街地活性化の施策「商店街のにぎわい形成」の中で、空き店舗対策、イベント実施などを商店街との連携を図りながら、支援に取り組めます。	経済戦略課 市街地整備室
84	中心市街地の 活性化	個人	79～ 80	<p>地方百貨店の存続支援。20万人商圏の業態では成立不可能な業態であることを勘案し、存続するための強力な支援を書き込んでほしい。鳥取大丸百貨店・駅南イオン・シャミネといった大型店と商店街の新たな連携による商業集積の構築が、商業活性化の切り札となると考えます。</p>	参考意見	貴重なご意見ありがとうございました。今後、鳥取駅周辺の商業の活性化を図るうえでの具体策又は取組みの参考とさせていただきます。	経済戦略課
85	中心市街地の 活性化	個人	79～ 80	<p>歩行者通行量の目標について、現在基本計画では平日の通行量を基本にしており、休日の目標ということは、大きな方針転換となるが、その点の整合性をどうとるのか？本来ならば、両方の目標値が必要である。</p>	その他	この計画の策定にあたっては、「第8次総合計画」(平成18年策定)の成果等を踏まえており、中心市街地活性化の成果目標として、引き続き、休日の歩行者通行量を設定しています。ご指摘のとおり、中心市街地活性化基本計画の目標項目が異なりますが、中心市街地の活性化には、平日、休日を問わず通行量の増加が必要であり、両方の目標値の達成をめざして取り組めます。	市街地整備室
86	中心市街地の 活性化	個人	79～ 80	<p>智頭街道・若桜街道の空きテナントやシャッターが閉じられたままの店舗がとても気がかりです。それらの場所を有効に使って、若者や何か新しくチャレンジしようと試みている方に提供してあげてはどうでしょうか。そのままの状態だと、商店街の景観も損なわれるように感じました。</p>	盛り込み 済み	<p>中心市街地の活性化、商業・サービス業の振興の施策の中で、空き店舗対策としてチャレンジショップ制度による若者をはじめ新規事業者の育成支援や店舗の改修支援などに取り組んでいます。</p> <p>※チャレンジショップ制度:新規出店をめざす方に中心市街地の店舗を安価な家賃で一定期間貸し出し、出店を支援する制度</p>	経済戦略課
87	中心市街地の 活性化	個人	79～ 80	<p>(商店街にぎわい形成)</p> <p>現在も商店街の空き店舗対策が行われていますが、昨今の急激な経済環境の悪化を考えると、より補助を手厚くし事業者の空き店舗入居を図る必要があると考えています。</p> <p>パレットとったりや五蔵圓ビルの拠点整備を活かした街の回遊性の創出が必要だと考えます。</p>	盛り込み 済み	<p>空き店舗入居促進やパレットとったり、五蔵圓ビルを拠点としたまちの回遊性の創出については、「商店街のにぎわい形成」に位置づけています。</p> <p>また、空き店舗対策については、社会経済情勢に対応し、より出店しやすい対策を事業者との連携により検討しながら取り組んでいます。</p>	経済戦略課
88	移住・定住の 促進	個人	23、 81～ 82	<p>鳥取の発展のためには、“若者”が重要なキーワードだと感じた。鳥取で就職する若者を増やす必要がある。また、大学進学のために鳥取を出た若者が大学卒業後、鳥取に戻ってくるような魅力が鳥取には必要だ。</p>	盛り込み 済み	<p>若者定住の促進については、リーディングプロジェクト(重点的な取組み)に位置づけ、積極的に取り組めます。</p> <p>ご指摘のとおり、若者定住には、市内就職が不可欠と考え、「鳥取市雇用創造戦略方針」に基づく若者の雇用創出施策とともに「鳥取市若者定住戦略方針」に基づく若者に魅力あるまちづくりを進めます。また、文化芸術等を身近に親しむ郷土教育の充実など、子どもたちが誇りと思うまちづくりを推進します。</p>	企画調整課
89	移住・定住の 促進	個人	81～ 82	<p>市に暮らしている子どもたちが鳥取を誇れるまちにする。大学は県外でも、「いずれ鳥取に戻ってきたい」、「鳥取のここがステキ」という声ができるだけでも十分。「鳥取で生まれ育った人間が、鳥取以外で生活していても心のどこかで鳥取を思っている」そういった人間を増やすことが『人を大切にすまち』づくりに繋がる。</p>	盛り込み 済み		企画調整課

⑩国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
90	農林水産業の推進	個人	83～84	中山間地域からの農産物の販売所を街なか作り、その売れ筋をインターネット販売と連動させ、売り込みを図っていく。そのためには、作付面積の計画的なコントロールが必要。	盛り込み済み	農産物の販売促進については、農林水産業の振興の施策「農林水産物の産地化、特産品化の促進」中に位置づけ、生産基盤の整備支援やインターネットショップの開設、地産地消による消費拡大などに取組みます。	農業振興課
91	農林水産業の振興	個人	83～84	(農林水産物の産地化、特産品の促進) 本市直営のインターネットショップで特産品を販売とありますが、市がネットショップを開設するメリットがあるのでしょうか？現在、民間のシステムでも十分優れたものがあります。そちらを活用した方がよいのではないのでしょうか。	その他	市が開設することのメリットは、インターネットショップを利用する者にとって安心感があるとともに、関係者が連携し、市の特産品やサービス等のブランド化を図りながら、一体的に売り出していくことを可能にすると考えています。また、販売状況の分析を行い、新商品開発など新たな取組みも促進したいと考えています。 なお、開設に当たっては、民間の大手企業等によるインターネットショップに参加が困難な方でも参加しやすいしくみとしていきます。	経済戦略課
92	農林水産業の振興	個人	83～84	中山間地の整備、農山村の振興こそ大きな課題です。農業振興を強烈に図る施策が求められます。ことに自由貿易化が避けられない状況にあって、泥縄式ながら農民の活力と意欲を如何に引き出すか、これは他の政策とも縦横に絡んだ最重要課題かも知れません。	盛り込み済み	中山間地域における農業振興については、リーディングプロジェクト(重点的な取組み)に位置づけ、地産地消の推進、インターネットショップの開設、関西圏などでの特産物のPRなどの特産品の販売促進や産地化に取組みます。また、農林水産業の振興施策の中で、担い手育成、生産基盤の整備、維持保全に取組みます。	農業振興課
93	農林水産業の推進	個人	83～84	新規就農者支援について、大変良いことで大いに期待したい。その際に、販売と生産を一体化し、生産者が直接街なかで販売する場合の支援策を検討いただきたい。	盛り込み済み	新規就農者支援については、農林水産業の振興の施策の中に位置づけ、「鳥取ふるさと就農舎」を中心とした栽培技術の向上や経営能力を備えた新規就農者の育成支援とともに、地産地消による市場拡大をはじめインターネットショップの開設、関西圏での農産物のPRなどによる販売促進に取組みます。	農業振興課
94	農林水産業の振興	団体	83～84	山林や農地の荒廃を守る施策を盛り込んで欲しい。	盛り込み済み	山林や農地の荒廃を守る施策については、農林水産業の振興の施策「農林水産業の生産基盤の整備、維持保全」の中で、森林の整備や農地の荒廃防止に取組むこととしています。	林務水産課
95	商業・サービス業の振興	個人	89～90	公設卸売市場や卸売業社の育成。交通網の発達により、市内市場機能不要論が出る可能性があるが、この機能が弱まると、食料品小売業の市内業者が壊滅してしまいます。地域に細々と生き残っている業者を育成する意味と、鳥取食材を専門に扱う市場として強力な支援を検討できないか？	盛り込み済み	鳥取市公設地方卸売市場などの卸売業の振興については、商業・サービス業の振興の施策「卸売業の振興」の中に位置づけ、市場機能の高度化や物流の効率化などの支援に取組みます。	経済戦略課
96	工業の振興	個人	87～88	物流効率化の仕組みとして、高速道路と連結した山陰地方各所に配送可能な物流センター誘致の方向性が見いだせないか？	参考意見	貴重なご意見ありがとうございました。今後、高速道路を活用した物流の効率化を進めるうえで具体的な施策又は取組みの参考とさせていただきます。	企業立地・支援課
97	工業の振興	個人	18、87～88	地域産業の振興は人づくりがベースであって、高校・大学教育機関の充実及び研究機関との連携強化が欠かせません。残念ながら現状は非常に悲観的です。	盛り込み済み	地域産業の振興のための人材育成については、工業の振興の施策「経済団体、金融機関、大学、産業支援機関等との連携」の中で、教育機関や研究機関との連携強化を図りながら取組みます。	経済戦略課
98	工業の振興	団体	87～88	「農商工林漁・産官学連携など・・・」とすべきではないだろうか。今は農商工だろうか、10年のスパンで考えると林業・漁業も入れておくべきだと思う。	盛り込み済み	農商工連携とは、農林漁業と商工業が連携することです。以下のような脚注を追加します。 農商工連携：農林漁業者と商工業者等が通常の商取引関係を超越して協力し、お互いの強みを活かして売れる新商品・新サービスの開発、生産等を行い、需要の開拓を行うこと。	経済戦略課
99	工業の振興	団体	87～88	企業誘致では、市全域の発展も考慮して「遊休公共用地の利用を考えた企業誘致」を入れて取り組んで欲しい。	参考意見	企業誘致については、市全域の発展を考慮し、工業の振興の施策「企業誘致の促進」に位置づけ雇用の拡大、地元企業の発展、企業ニーズなどに合わせて戦略的に取組みます。	企業・立地支援課
100	商業・サービス業の振興	団体	89～90	長期展望に立って「移動販売の推進と支援策の検討」を盛り込んではどうだろうか。 移動販売車については、岩美町で来月から始める。JAと国府と連携してやりたいので、是非とも計画に入れて欲しい。	盛り込み済み	ご意見の移動販売に限定はしていませんが、商業・サービスの施策の中で、社会的課題や地域課題をビジネス手法で解決するソーシャル・コミュニティビジネスの取組み支援を位置づけ、取組むこととしています。 なお、この取組みをリーディングプロジェクト(重点的な取組み)として位置づけ、積極的に推進します。	中山間地域振興課 経済戦略課

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
101	商業・サービス業の振興	団体	89～90	青谷にはコンビニがない。コンビニ払いは非常に便利である。移動販売において、コンビニ払いを取り扱うようなことにはならないか。	その他	移動販売に取組まれる事業者が事業実施にあたり、検討いただくことと考えます。	中山間地域振興課 経済戦略課
102	雇用創出・環境の充実	個人	91～92	求職者教育の充実。求職者教育が徹底できる機関を創設すべきではないか？失業者の質的向上は、国県の役割ではあるが、地域の実情に合わせた求職者教育を地域の経営者が実施するという支援対策は必要ではないか？	盛り込み済み	求職者教育の充実については、雇用創出・環境の充実の施策に位置づけており、求職者へのインターンシップや技能向上のための人材育成による求人・求職間のマッチングを促進します。	雇用創造推進室

⑪魅力、感動、癒しの空間でもてなす

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
103	ビジットとつとりの展開	個人	95～96	大型客船の寄港できる港湾施設の充実が必要。	参考意見	ご提案の鳥取港湾の施設整備は、県が事業主体となります。今後の観光振興の具体策又は取組みの参考とさせていただきます。	都市企画課
104	ビジットとつとりの展開	個人	95～96	鳥取港からサンセットクルーズが継続的に出来る仕組みづくり	その他	鳥取港では、平成22年度においても、賀露みなと観光協会が、夏季(7, 8月)に、日本海サンセット・漁火クルージングを主催し、多くの皆様に利用していただきました。本市としては、今後も継続的に実施できるよう、関係者への支援を行いたいと考えています。 また、今後の新たな取組みとして、山陰海岸ジオパークを活用した観光商品等の開発として、鳥取港を活用した鳥取砂丘と浦富海岸を結ぶクルージングについて関係者と協議を進めているところです。	観光コンベンション推進課

⑫価値ある情報を発信する

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
105	情報通信技術の活用	個人	18、97～98	高度情報社会への道をもっと強烈的な表現で表すべきと思います。情報は発信ばかりではなく双方向通信ではないでしょうか。具体的には市内全戸光ケーブル導入が有ってしかるべきでしょう。	盛り込み済み	全市域へのCATV網の整備により、全戸において高速インターネット網を利用できるようになりました。 ご指摘のとおり、市民生活向上のための情報通信技術を活用については、情報通信技術の活用施策「市民生活の向上に向けた情報通信技術の活用」の中で、インターネット・CATVを活用した双方向通信による市民生活の向上に取組みます。	情報政策課

(17)実施計画について

NO	ご意見 対象箇所	区分	資料 P	ご意見の概要	対応区分	市の考え方	担当課
106	実施計画	団体	—	実施計画では、地域ごとの特徴があるものとなるのか。	その他	総合計画の実施計画は、地域別ではなく、基本計画の主な施策ごとの具体的な事業計画となります。 今後、この計画に基づいて新市域で作成する地域振興プランでは、地域ごとの特徴がある計画となると考えています。	行財政改革課 中山間地域振興課